

前芝中学校通信

～校長室の窓から～

豊橋市立前芝中学校

第86号

H29. 1. 24

学年の仕上げのとき

～ 1年のまとめと新しい学年を迎えるよい助走期間に ～



2017年がスタートしました。前芝学校のさらなる発展をお誓いし、今年が生徒たちやご家族の皆様にとって最良の年でありますよう心より願っております。

この冬休み、生徒全員が大きな事故、病気などもなく充実して過ごせたこと、うれしく思います。しかし、市内ではインフルエンザが猛威を振るっています。ご家庭におきましても、予防や早目の対応をよろしくお願いいたします。

さて、1月10日の「はじめの会」で、生徒たちにおみくじや、箱根駅伝で3連覇を成し遂げた青山学院大学の原監督の話題を出しながら、次のような話をしました。

- ① 「将来の夢や目標」をめざして、「少し先の目標」、そして「すぐ目の前の目標」を立てて、今、やるべきことを頑張ることで、結果が出る
- ② 今から3月までの時期は、学年の仕上げの時期、
『1年生』は、4月に入学してくる後輩から「あんな先輩になりたい」と憧れられるようになるように、この3か月の目標をもって成長を
『2年生』は、“3年生の0学期”だと思って授業や部活動でしっかり力をつけ、行事や委員会活動・日常生活で、先輩の後を引き継げるように
『3年生』は、前芝中で学ぶ最後の2か月。自分の進路実現に向けて、時間を惜しみ、最後まで踏ん張って努力をし、将来の夢に結び付けるように

“締めくくりの3か月間が、新しい学年となったときへの助走”と意識し、一日一日を大切に過ごしてほしいものです。

前芝中学校の活動・生徒の姿から

【百人一首大会】 1月10日(火)

伝統のこの大会も第39回目となりました。全校生徒がかかわり合うなかで日本古来の文化に親しむことを目的としています。大会に先立ち、元校区自治会長であり前芝学校支援ボランティアの加藤孝雄さんの尺八演奏と、為国知里さんによる箏で“春の海”“さくら”と、新年にふさわしい演奏を聴かせていただきました。

この大会のために、生徒会役員の皆さんは、男女や学年の枠を越えてグループを組み、冬休みには転入の先生方の袴を作りリハーサルもするなど、準備を進めていました。また、前芝学校開校で新設した「どうたくんタイム」で、12月には毎日、百人一首に取り組みました。その成果もあり、札を拾うスピードも昨年以上に増しました。上の句を詠んだところで下の句が拾えた生徒も多数いました。優勝は3年生の牧平遥香さん。みごと1年生からの3連覇です。個人2位・3位の生徒、学級対抗については、すこやか新聞をご覧ください。





新春の伝統行事に親しむ

3連覇の牧平さん 55枚で「クイーン」

豊橋前芝中の「百人一首大会」

豊橋市立前芝中学校で10日、新春を告げる百人一首大会が同校体育館であり、生徒約120人が

上の句が読まれ、すばやく札を抑える生徒。豊橋市立前芝中学校で

熱戦を繰り広げた。毎年冬休み明けに行っており、今年で39回目を迎える伝統行事。

学年混合で前半を戦い、獲得した札の枚数に応じ、後半戦は8人ずつの班に分かれて競った。

生徒らは目の前に並べ

られた札を真剣に見つめ、耳をすまして読み手となった教員らの声に集中。上の句が読まれると「ハイ！」と勢いよく札

に飛び込み、喜んだり、取られ悔しい表情を浮かべたりしていた。

結果は、3連覇を果たした3年、牧平遥香さん（15）が55枚を獲得しクイーンに輝いた。「受験勉強があり、全然覚える

ことができず心配だった。しい」と晴れやかな笑顔が、いっぱい取れてうれを浮かべた。（飯塚雪）